市職員を募集

6月25日から受付け

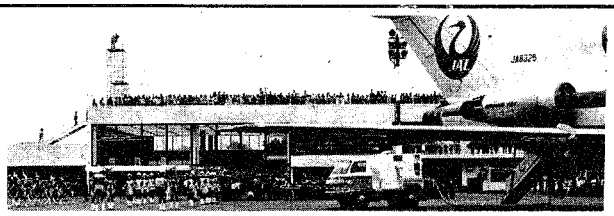
昭和49年度採用の市職員（上級職）を次の要領で募集します。なお、初級職の採用試験は10月以降に行なう予定です。

- 試験日　7月22日（日曜日）
- 試験会場　市立寄居中学校
- 試験内容　1次試験（筆記試験）と2次試験（面接、身体検査）、なお、2次試験は1次試験合格者だけに後日実施。
- 職種と受験資格　下表のとおり。
- 募集要項と受験申込み用紙　市役所人事課（本庁3階）で6月25日から差上げます。郵送希望の方は、あて先を明記し20円切手を貼った返信用封筒を同封してください。
- 申込み期間　6月25日から7月14日まで。
- 申込み先　新潟市役所総務部人事課（西堀通6、〒番号951）

区分	職種	受験資格
上級	一般行政 土木 建築	学校教育法による大学（短期大学を除く）を昭和45年3月以降に卒業した人、または昭和49年3月卒業見込みの人

シベリア開発に大きな役割り

局地間空路が開設



十五日、午前十時きっかり、アエロフロートの第一便ツポレフ154型機が、純白の巨体を滑走路に着陸、一番スポットに横付けした。バトンガールとブラスバンドの演奏のなかをシベハノフ機長ら乗務員と、ソ連からの一般旅客二十八人がタラップを降りた。

千人の市民の見守るなか、シベハノフ機長と渡辺市長はガッチリ握手。乗客らは、花束と歓迎のことばをあびた。

こうして、新潟とシベリアを結べわずか二時間、新潟ハバロフスク局地間空路の一歩が印された。

続いて、午前十一時四十五分、日本航空の一番機が、渡辺市長、newspaper社長ら六人を乗せ、ハバロフスクに向け、一気に空へ舞い上った。

6月定例議会

条例の改正など40議案

30日間慎重に審議

六月定例市議会は、さる十三日から開かれています。

七月十三日までの三十日間の会期中、市長が提案した議案四十件それに報告四件が慎重に審議され、最終日に採決が行なわれます。

議案の内容は次の通りです。

- 四億六千三百万余円を追加補正する四十八年度一般会計補正予算
- 国民健康保険など事業会計予算の補正一件
- 給水条例など条例の一部改正について一件
- 東港地域水道用水供給企業団の設立について
- 東港福王橋発電事業にかかわる損害賠償事件の、市と被害者との和解について
- 固定資産評価の選任について
- 市長専決処分について
- 四十九年度に付す消防ポンプ自動車を購入する財産の取得について
- 公害防止のために、西潟福王場ごみ焼却施設に電気集じん装置を設置する工事、同工場のし尿処理施設を改修する工事、また、上所島の「市民マンション」の分譲店舗および集会室新築工事。これら工事の契約の締結について一件。

なお、報告については、①継続費繰越計算書 ②繰越明許費繰越計算書 ③予算繰越計算書、など四件になっています。

市歌・市民歌音楽会

6月28日

四十三年のスポーツ音楽都市宣言を機に、市民が作った市歌と市民歌を市民生活の中に普及させようと、毎年「市歌・市民歌音楽会」を開いています。

この音楽会では、会場で出演者と皆さんが一緒になって市歌・市民歌をおぼえ、歌い合うというものです。今回は、次の要領で開かれます。多数ご来場ください。

- とき　六月二十八日、午後六時半から。
- ところ　県民会館小ホール
- 出演　奏リコーダー合奏とギター独奏。▼ヘンデル作曲「ソナタイ短調」▼タウラント作曲「涙のパバーヌ」ほか。
- 入場料　無料。招待券は市社会教育課、名曲堂、カネコ楽器、しろま楽器にあります。

能と狂言に浸る会

7月1日

- とき　七月一日、午後一時半～
- ところ　県民会館大ホール
- 出し物　能「殺生石」・狂言の「釣狐」ほか。人間国宝の野村萬氏一行の出演。
- 入場料　二千円。

紙上討論 私たちの意見

きれいな町にするには

～テーマ～

新潟国体時には、市民の力を結集してこれ一つないきれいなまちにしたものです。

今でも、婦人会や各種団体などの清掃活動や各自の公園や街路の清掃など続けている人たちもおり、きれいなまちづくりへの灯はともりつづけてはいません。

そこで、三回目の「紙上討論―私たちの意見―」は、国体時のような「きれいな町にするには？」どうしたらよいか、をテーマに意見を寄せていただくことになりました。多数のご応募をお待ちしております。

- 応募要領　四百字づめ原稿用紙一枚半程度にまとめ、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記し市広報課（〒九五一、西堀通六）へ六月三十日までに送りください。掲載分には謝礼進呈。

市税の改正

控除額の引上げ

税率も緩和

地方税法と新潟市の市税条例が一部改正されました。そこで今回は、個人市民税の改正のあらましを、また、次には固定資産税について、お知らせします。

各種所得控除額の引上げ

新に老人扶養控除が新設されるとともに基礎控除などの各種控除（表A）のように緩和されました。

非課税限度額の引上げ

障害者、未成年者、老年者（満六十五歳以上）、寡婦の非課税限度額が、三十八万円から四十二万円に引上げられました。

老人扶養親族のうち年齢七十歳以上の人で、障害者控除に該当しない人。

税率の緩和

所得割の税適用区分などが（表A）のように緩和されました。

所得割の税率適用区分（表A）

適用税率	改正 課税所得金額の段階	改正 控除額	前 課税所得金額の段階	前 控除額
2％	15万円以下の金額	0円	30万円以下の金額	0円
3	15万円をこえる金額	1,500	30万円をこえる金額	3,000
4	40万円 〃	5,500	50万円 〃	8,000
5	70万円 〃	12,500	80万円 〃	16,000
6	100万円 〃	22,500	110万円 〃	27,000
7	150万円 〃	37,500	150万円 〃	42,000
8	250万円 〃	62,500	250万円 〃	67,000
9	400万円 〃	102,500	400万円 〃	107,000
10	600万円 〃	162,500	600万円 〃	167,000
11	1,000万円 〃	262,500	1,000万円 〃	267,000
12	2,000万円 〃	462,500	2,000万円 〃	467,000
13	3,000万円 〃	762,500	3,000万円 〃	767,000
14	5,000万円 〃	1,262,500	5,000万円 〃	1,267,000

各種所得控除（表B）

項目	改正前	改正後
基礎控除額	15万円	16万円
配偶者控除額	14	15
扶養控除額	11	12
配偶者のいない世帯の1人目	12	14
障害者控除額	10	12
老年者控除額		
寡婦控除額		
勤労学生控除額		
特別障害者控除額	12	14
老人扶養控除額		14（新設）

訂正のおわび

六月十五日発行号に掲載した、市職員等立病院開題調査特別委員会の委員のうち、故人の故賀島一氏を削除し、おわびいたします。また、六月五日号の「三月の大気汚染」の記事中、東山ノ下小学校は東山ノ下小学校の誤りでした。訂正しておわびします。

市長に提案を募集

テーマ　緑豊かな都市づくりを市民ぐるみで進める方策

市民参加の市政で豊かな町にとの趣旨で、次のように「市長に提案」を募集します。

- テーマ　「緑豊かな都市づくりを市民ぐるみで進める方策」
- 投稿の方法　《資格》新潟市民ならびに市内の職場に勤めている人　《内容》テーマに沿った内容で、前向きのアイデアに富んだもの。　《用紙・字数》用紙は自由、原稿用紙、もしくは便せんとします。字数は特に制限しません。　《その他》住所・氏名をはっきり書き、手紙の表に「市長に提案」とお書きください。
- 賞　▼テーマと記念品（五千円相当）▼佳作―十編程度に賞状と記念品（五百円相当）▼その他「推せん」と「佳作」については編集日刷のうえ全応募者にさしあげます。なお応募原稿はお返しいたしません。
- しめきり　六月三十日
- 問合先　企画部広報課（本庁三階）です。

電話案内

本庁	28―1000
東総合庁舎	41―4111
東地区事務所	
工業振興課	
衛生課	
公害課	
清掃業務課	
清掃施設課	
東保健所	
中地区事務所	74―0321
	74―4039
西地区事務所	62―3111
	62―3405
北地区事務所	59―2721
	59―2303
西保健所	66―5171

街頭総合相談

小針十字路で

次のとおり「街頭総合市民相談」を行ないます。

- 日時　7月7日（土）　午後1時30分～3時30分
- 会場　小針十字路ハオハオラーメン店駐車場（雨天の場合は金鶏幼稚園）

それぞれの担当課長が、市に対する皆さんの苦情や要望をお聞きしようというもので道路、下水道建設、下水道管理、都市計画、公園緑地、清掃業務、交通、公害、教育委員会庶務、水道局配水、同営業、広聴の各課長が出席します。どんな問題でもお気軽にご相談ください。

第1期分 市県民税 納期限 6月30日

納税通知書をお持ちのうえ、近くの銀行か農協へお納めください。

舟江図書館 臨時休館

舟江図書館では、蔵書点検のため次の期間中、臨時休館します。

休館期間　7月9日～7月14日、8月6日～8月9日

巡回市民相談

7月 一時半～三時半

- ▼丸山小校区▲　とき　七月二日（火）　ところ　丸山小二階図書室
- ▼有明台小校区▲　とき　七月十日（火）　ところ　有明台小二階会議室
- ▼木戸小校区▲　とき　七月十二日（木）　ところ　木戸小二階会議室
- ▼入舟小校区▲　とき　七月十七日（火）　ところ　入舟小二階会議室
- ▼丸潟小校区▲　とき　七月二十四日（火）　ところ　丸潟小二階資料室
- ▼桜小校区▲　とき　七月二十七日（火）　ところ　桜小二階第二音楽室

新着図書の案内 ―図書館―

館名	書名	著者名
舟江図書館（28）3235	近代日本女性史	福地重孝
	家族戦争	登世男
	新聞と日本語	善四郎
	新潟に生きる	新聞新潟支局編
	まちがい栄養学	川島一朗
沼垂図書館（41）4111内線 286 267	ハンカチの上の花畑（児童）	直子
	ふきまんぶく（〃）	勝義存雄
	NHK受信料拒否の論理	安田浅三（文と絵）
	ゆっくり歩こう日本	一臣編介正
	高志路（1～5）	田井林木沢
	激動期の通貨外交	本玉小柏
	日本の洗剤（その総点検）	文柳
山の下（電話なし）0225	IC無限商法の秘密	R・アルツシューラー
	方言の山野	N・レガッシュ与一輔
	タレントその世界	藤原六
		永輔

市の人口

前月比

人口	401,224（+916）
男	196,036（+498）
女	205,188（+418）
世帯数	122,056（+574）

48.5. 末日現在

（おもな内容）

二面●水深検査の結果
三面●にぎわう市民相談室
●新潟地震から9年目
四面●自動車の安全な乗り方大会
●中元融資の受付け

市報
発行所　新潟市役所　新潟市西堀通6番町866　電話代表(28)1000
編集人　本間高明（社会部広報課）
印刷所　㈱旭光社